

## 《展示活動》

### 特別展「山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文 —近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙が収集した「林泉文庫」の世界—

須藤 静香（附属博物館学芸員）

#### 1. はじめに

当館では、毎年秋に特定のテーマに沿った「特別展」を開催している。ここでは2017(平成29)年10月6日(金)～11月14日(火)[32日間]開催した「山形と沖縄をつないだ琉球漢詩文—近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙が収集した「林泉文庫」の世界—」について報告する。本展は近代山形最初の郷土史家、伊佐早謙が収集した林泉文庫に収められた貴重な琉球・沖縄関係資料を公開する県内初の試みである。資料の活用はもとより、展示を通して山形と沖縄のつながりを広く紹介するとともに、山形師範学校で教鞭をとった伊佐早のさまざまな業績を顕彰することを目的とした。主催他概要は以下のとおりである。

主 催：山形大学附属博物館、小白川図書館

後 援：日本中国学会第69回大会準備会

協 力：うるま市立中央図書館・市立米沢図書館

会 期：2017年10月6日(金)～11月14日(火)[32日間]

会 場：山形大学附属博物館、小白川図書館

(小白川図書館)

休 館 日：なし

開館時間：8時15分から21時まで(平日)、11時から18時まで(土日祝日)

(附属博物館)

休 館 日：土曜、日曜、祝日(ただし、10月7日(土)、8日(日)、14日(土)、21日(土)、22日(日)、28日(土)は臨時開館日とする。)

開館時間：9時30分から17時まで(平日)、11時から17時まで(土日)

来場者数：2,942人

関連行事：(1)ギャラリートーク

日 時：2017年10月6日(金)17:00～17:40、5日(土)12:30～13:10

講 師：高津 孝(鹿児島大学法文学部教授)

会 場：小白川図書館1階

参加者：6日 35人、7日 41人

(2)特別講演会「伊佐早謙と林泉文庫 —知の巨人とその蔵書—」

日 時：2017年10月19日(木)16:30～18:00

講 師：青木 昭博(市立米沢図書館郷土資料担当)

会 場：人文社会科学部1号館1階103教室

参加者：75人

#### 2. 本学に収められた林泉文庫

伊佐早謙(1858～1930：安政5～昭和5)は、近代山形の郷土史家として様々な業績を残した。1890(明治23)年から晩年まで上杉家記録編纂所の総裁を委嘱され、『上杉家御年譜(茂憲公)』『鷹山公遺事』等の執筆にあたっている。伊佐早が収集した「林泉文庫」は米沢藩関係の書籍・古文書および和漢の古典籍からなる一大コレクションである。伊佐早の死後、遺言により蔵書は一度上杉家に寄贈され、1938(昭和13)年以降、市立米沢図書館に寄託されていた。戦後1954(昭和29)年に市立米沢図書館、瑞龍院龍門図書館、米沢女子短

期大学附属図書館、本学附属図書館(現小白川図書館)の教育学部分館がそれぞれ購入した。数所に分散して収蔵されたため、膨大な文庫の全体像が見えにくくなっている。本学では、和・漢の古典籍を中心に収蔵している。資料の登録は、1955(昭和30)年11月に完了し、その後は書庫内で保管されてきた。本学が書籍を購入した経緯については不明だが、購入に際し同学部所属で初代附属博物館長の長井政太郎教授(1952～70:昭和27～45館長在任)が深く関わっていると推察される。本展では、本館所蔵の約1,170タイトルの中から、貴重な琉球・沖縄関係資料を初めて公開した。本展は4つの章からなり、第一・二章を附属博物館、第三・四章を小白川図書館に割り当てた。各章の詳細は次のとおりである。

### 3. 展示構成

第一章 上杉茂憲と琉球(会場:附属博物館)

第二章 伊佐早謙の様々な顔 郷土史家・漢詩人・教育者・図書館人(会場:附属博物館)

第三章 林泉文庫の世界(会場:小白川図書館)

第四章 うるま市立中央図書館の琉球関係資料調査(会場:小白川図書館)

#### 3.1. 第一章 上杉茂憲と琉球

伊佐早が沖縄へ赴く契機となった米沢藩第13代藩主、上杉茂憲(1844～1917:弘化元～大正6)と琉球の関係について述べている。茂憲は、1871(明治4)年廃藩置県により東京へ移住、その後、英国遊学を終えると「琉球処分」により新たに設置された沖縄県へ1881(明治14)年、第2代県令として赴任した。

茂憲は、師範学校の充実や、県内初の県費留学生の東京派遣などの教育面に力を注いでいる。しかし、民を優先した政策が明治政府の思惑に反した急進的な改革だったため、2年余りで解任。沖縄を去るに際、当時としては破格の奨学資金1,500円を寄付している。このようなことから沖縄では、現在も旧慣の改革を試みた革新的な県令として評価されている。

40年後、茂憲の沖縄における事蹟調査が行われたのは、1924(大正13)年、伊佐早69歳の老年期にさしかかったばかりのころ。本章では、茂憲とその家族や琉球の風景写真をパネルに仕立て、琉球の文化に関する資料を展示し、山形と琉球(沖縄)の関係性を示した。



附属博物館 第一章 上杉茂憲と琉球

#### 3.2. 第二章 伊佐早謙の様々な顔 郷土史家・漢詩人・教育者・図書館人

置賜郡上花沢信濃町(今の山形県米沢市)の米沢藩士の家に生まれた伊佐早は、1890(明治23)年から晩年まで上杉家記録編纂所の総裁を務め、『上杉家御年譜(茂憲公)』『鷹山公遺事』等の執筆にあたった。また、1920(大正9)年に刊行された本県初『山形県史』の編集主任を担っている。漢詩文に精通し、21歳で『鶴城詩集』を編纂、晩年には「樞軒」号で詠んだ漢詩を収めた詩集を出版している。

教育者としては、米沢中学校(今の県立米沢興譲館高校)や山形県師範学校(山形大学地域教育文化学部の前身)の三等助教諭を務め、郷里の人材を数多く育てた。1909(明治42)年には、各界に働きかけ、「財団法人米沢図書館」(市立米沢図書館の前身)の設立に尽力し、亡くなる直前まで、第2代館長として貴重書の収集に努めるなど図書館人としても貢献した。

本章では、伊佐早謙の略歴および様々な事績についてパネルで紹介し、伊佐早が出版した漢詩集『樞軒稿』や米沢藩の藩主や家臣の名言・善行・異才をまとめた人物伝『稿本清覽録』、編集主任を務めた伊佐早の「例言」が付された『山形県史』等の書籍資料を展示した。

#### 3.3. 第三章 林泉文庫の世界

林泉文庫は、伊佐早個人が収集した米沢藩関係の書籍・古文書および和漢の古典籍からなる一大コレクションである。その蔵書は、遺言により一度上杉家に寄贈され、1938(昭和13)年以降、市立米沢図書館に寄託されたが、戦後1954(昭和29)年に市立米沢図書館、瑞龍院龍門図書館、米沢女子短期大学附属図書館、本学附属図書館(現小白川図書館)の教育学部分館がそれぞれ購入した。その結果、数所に分散して收藏されたため膨大な文庫の全体像が見えにくくなっている。本学では、和・漢の古典籍を中心に收藏。1955(昭和30)年11月に登録が完了して以来、館内書庫で眠り続けてきた。師範学校在職の縁もある彼の貴重な蔵書を本学が購入した経緯は不明だが、購入に際し同学部所属で初代附属博物館長の長井政太郎教授が関係していると推察される。

第三・四章は、小白川図書館1階のグループワークエリアを会場にした。会場の出入口上部には、林泉文庫扁額の原寸大パネルを設置し、壁面には伊佐早と山形大学のつながりを紹介するコラムパネル、学生が選んだ琉球漢詩文に関する「学生が選ぶ琉球漢詩文パネル」コーナーを設けた。本コーナーは、授業の一環として伊佐早が出版した『縦軒稿』を読み、その中から気に入った詩を選んで現代語訳を加えたパネル原稿を作成する試みで、制作を通し来館者へ向けた漢詩文への理解を深める一助を担うことを目的としている。場内には10台の展示ケースを設置し、琉球関係資料を中心に展示を行った。

### 3.5. 第四章 うるま市立中央図書館の琉球関係資料調査

本学所蔵の林泉文庫の貴重な琉球関係資料の存在に最初に注目したのは、うるま市立中央図書館の栄野川教館長や鹿児島大学法文学部の高津孝教授らである。2013(平成25)年6・7月に行われた小白川図書館調査では、約28点にのぼる琉球・沖縄関係資料の存在を明らかにした。調査成果は、『蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業研究成果報告書』(沖縄県うるま市教育委員会2015年)に詳しくまとめられ、市民対象の小冊子『うるま 漢詩ロード散策』が5号まで発行されている。

2014年3月に開催された史料展示会「蔡大鼎が見つない縁『伊計村遊草』との出会い—大陸と琉球と山形・米沢と—」では、林泉文庫所蔵資料22点(山大20点、米短2点)などが展示され、地元新聞に「琉球関係資料の90年ぶりの里帰り」として大きく取り上げられた。

本章では、うるま市立中央図書館市史編さん係が行ったこれまでの調査事業の成果概要について説明するとともに、本学小白川図書館へ寄贈された、調査研究事業・研究成果報告書および林泉文庫内資料の複製本『北燕遊草』、『呈文集』、『琉球正使毛國棟詩』、『林世功遺稿』、『官生鄭孝徳詩文集』、『意山堂詩集』計6点を露出展示し、来館者が自由に閲覧できるようにした。

## 4. 関連事業

以下の関連事業を実施した。

### (1) ギャラリートーク

講師に鹿児島大学法文学部の高津孝教授をお迎えし、小白川図書館展示エリアで10月6日(金)17:00～17:40、5日(土)12:30～13:10の2回実施した。会場内は、学生や地域住民の参加者で溢れた。また、本展覧会初日から6日(日)まで第69回日本中国学会大会が行われており、学会関係者の姿も多く見受けられた。所要時間は各回40分。琉球の成り立ちから琉球の文化、林泉文庫内の資料について解説していただいた。参加者人数は6日35名、7日41名であった。



小白川図書館 展示会場入り口

### (2) 特別講演会「伊佐早謙と林泉文庫 一知の巨人とその蔵書—」



小白川図書館 第三章 林泉文庫の世界



小白川図書館 第四章  
うるま市立中央図書館の琉球関係資料調査

10月19日(木)、人文社会科学部1号館1階103教室を会場に特別講演を行った。講師は、長年米沢の郷土史を研究する市立米沢図書館郷土資料担当の青木昭博主幹。講演会では伊佐早の経歴や彼の蔵書「林泉文庫」の特徴・形成される過程、琉球関係資料と近年行われた調査について発表していただいた。聴講者からは「資料が遠く離れた土地と土地をつなぐというのは素敵だと思った」、「今回の講演を機会に、図書館やデジタルライブラリーを活用して林泉文庫などの貴重な本を読んでみたい」など様々な感想が寄せられた。所要時間は90分、参加者人数は75名。

## 5. おわりに

会期中、県内外から2,942名の方々が附属博物館・小白川図書館を訪れ、資料とその背景にある歴史を知ることとなった。伊佐早謙は、郷土史家として多大なる功績を残したが、時代が下るにつれ、その名は人知れず歴史の間に埋もれていった。本展を通し、彼の人物像やその功績、山形と沖縄の繋がりを紹介することで、学生や地域住民に、郷土の歴史に対する理解と



ギャラリートーク



特別講演会

関心を深める機会を提供できた。この点から当初の目的を達成できたと感じる。また、資料調査によって館内・県内に眠る貴重な資料を再発見し、今後の展示活用が期待されている。今後も、本展のような企画や公開講座を通して地域文化の向上に寄与する当博物館としての役割を担っていきたい。

資料リスト

	タイトル	著者	場所・時期・形態	旧蔵者	所蔵者
1.上杉茂憲と琉球	上杉茂憲・兼夫婦と子ども達(パネル)	江崎礼二	1888(明治21)年7月1日 古写真		個人
	伊佐早謙(パネル)	秋山写真館	(大正~昭和初期) 古写真		個人
	絵葉書(沖縄県各地名所)5点		昭和初期		山形県立博物館
	御膳本草	琉球 渡嘉敷通寛 撰	琉球 1832(尚瀨20)年	林泉文庫	小白川図書館
	首里城守礼門(パネル)		1881(明治14)~83(明治16)年 古写真		個人
	首里城内部(パネル)		1881(明治14)~83(明治17)年 古写真		個人
	通堂の船と町並み(パネル)		1881(明治14)~83(明治18)年 古写真		個人
	文官大礼服を着た上杉茂憲(パネル)	山本誠陽	1897(明治30)年代 古写真		個人
	琉球楽譜 工工四拾遺日録	琉球 編者不詳	琉球 古写本	林泉文庫	小白川図書館
	琉球三島并三十六嶋之図	林子平 書写者不詳	写本	林泉文庫	小白川図書館
琉球人登城並上野御宮参詣行列	琉球 編者不詳	琉球 古写本	林泉文庫	小白川図書館	
2.伊佐早謙の様々な顔 郷土史家・漢詩人 教育者・図書館人	伊佐早謙 肖像写真		昭和初期		個人
	恩栄紀詩	伊佐早謙 撰	1925(大正14)年		個人
	鶴城詩集(鶴城絶句抄)	伊佐早幸吉(謙) 輯	1879(明治12)年		小白川図書館
	故伊佐早謙先生閔歴	山形県立図書館 編	1930(昭和5)年9月		個人
	皇太子殿下御前講演祝賀 伊佐早先生招待会員名簿		1924(大正14)年10月24日		個人
	稿本清覽録	伊佐早謙 撰、米沢市役所 発行	1908(明治41)年		小白川図書館
	椀軒稿	伊佐早謙(君益) 撰	1926(大正15)年		小白川図書館
	西方君紀年碑拓本	伊佐早謙 撰、吉田善之助 刻	1899(明治32)年		長井市(文教の杜ながい)
	山形県史 全4巻	山形県内務部	1920(大正9)年	長井政太郎旧蔵	小白川図書館
	山形大学教育学部九十年誌	同編集委員会	1968(昭和43)年11月		小白川図書館
琉球文伝(沖縄県史料、近代)	伊佐早謙 輯	1983(昭和58)年		山形県立図書館	
3.林泉文庫の世界	伊佐早謙採集文書(複製本)	伊佐早謙	1887(明治20)~99(明治32)年		小白川図書館
	意山堂詩集	清 楊夢鯉(南甯甫) 撰	琉球 古写本	蔡大受旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	沖繩志 全5巻	伊地知貞壽 撰 重野安禎 校閲	1877(明治10)年		小白川図書館
	鶴城絶句鈔	伊佐早謙 輯	1884(明治17)年		小白川図書館
	官生鄭孝徳詩文集	琉球 鄭孝徳 撰	琉球 古写本	蔡德懋旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	喜安日記	喜安入道蕃玄 撰	写本 1924年河野彦一書写	林泉文庫	小白川図書館
	欽定国子監則例	清 官撰	清 1792(大正13)年刊	林世功旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	稿本清覽録	伊佐早謙 撰、米沢市役所 発行	1908(明治41)年		小白川図書館
	言上書写	琉球 毛有増 撰	琉球 古写本	林泉文庫	小白川図書館
	詩稿	琉球 林世勳 撰	琉球 古写本	林世勳旧蔵?、林泉文庫	小白川図書館
	詩文稿	琉球 林世勳 撰	1868(同治7)年	林世勳旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	椀軒絶句「飲風月樓」	宮本はるな 書	2017(平成29)年9月		個人
	大清道光二十七年時憲書 (朱墨套印本)	清 欽天監印造	1846(道光26)年刊	蔡大鼎旧蔵?、林泉文庫	小白川図書館
	陳楊園先生童子摭談 (琉球版本)	清 陳庚煥 撰	1844(道光24)年刊	浦添朝顯旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	呈文	琉球 編者不詳	琉球 古写本	林世勳旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	呈文	琉球 編者不詳	琉球 古写本	阮永吉旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	呈文	琉球 編者不詳	琉球 古写本	林世勳旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	呈文集	琉球 蔡大鼎 輯	琉球 古写本	蔡大鼎旧蔵?、林泉文庫	小白川図書館
	南島志	新井白石 撰	1719(享保4)年序 1856(安政3)年刊?	窪田蔵書印あり、林泉文庫	小白川図書館
	閩雜記	清 施鴻保 撰	1878(光緒4)年刊	林世功旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	北燕游草	琉球 蔡大鼎 撰	1873(同治12)年刊	林世功旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	琉球学士手抄	琉球 編者不詳	琉球 古写本	林泉文庫	小白川図書館
	琉球三十六嶋之図	林子平	写本	林泉文庫	小白川図書館
	琉球史料目録	沖縄県立図書館編	1924(大正13)年刊		小白川図書館
	琉球正使毛國棟詩	編者不詳	琉球 古写本	蔡德昌旧蔵、林泉文庫	小白川図書館
	琉球征伐記	著者不詳	古写本	旧蔵者不詳、林泉文庫	小白川図書館
	琉球藩史	小林居敬 編次 青江秀剛 補	1874(明治7)年刊	林泉文庫	小白川図書館
	琉球由来記	琉球 編者不詳	琉球 古写本	林泉文庫	小白川図書館
	林世功遺稿	編者不詳	琉球 1913年以降写本	林泉文庫	小白川図書館
	林泉文庫寄贈書及書目	伊佐早信 編	1937(昭和12)年		小白川図書館
山形県漢学者総覧稿 (山形大学紀(人文科学編)15巻4号)	長尾直茂	2004(平成16)年		小白川図書館	
4.うるま市立中央図書館 の琉球関係資料調査	意山堂詩集(複製本)	清 楊夢鯉(南甯甫) 撰	うるま市立中央図書館 2015(平成27)年 複製本		小白川図書館
	官生鄭孝徳詩文集(複製本)	琉球 鄭孝徳 撰	うるま市立中央図書館 2015(平成27)年 複製本		小白川図書館
	北燕游草(複製本)	琉球 蔡大鼎 撰	うるま市立中央図書館 2015(平成27)年 複製本		小白川図書館
	呈文集(複製本)	琉球 蔡大鼎 輯	うるま市立中央図書館 2015(平成27)年 複製本		小白川図書館
	琉球正使毛國棟詩(複製本)	編者不詳	うるま市立中央図書館 2015(平成27)年 複製本		小白川図書館
	林世功遺稿(複製本)	編者不詳	うるま市立中央図書館 2015(平成27)年 複製本		小白川図書館
	「伊計村遊草」訳注解説	高津孝 訳/解説 うるま市立図書館市史編さん係 編	2014(平成26)年		小白川図書館
	蔡大鼎『伊計村遊草』等調査研究事業 研究成果報告書	うるま市立図書館市史編さん係 編	2015(平成27)年		小白川図書館
	蔡大鼎漢詩精選集 漏刻楼集・欽思堂詩文集	紺野達也 訳/解説 うるま市立図書館市史編さん係 編	2015(平成27)年		小白川図書館
	蔡大鼎関連資料集 全8冊	うるま市立図書館市史編さん係 編	2014(平成26)年		小白川図書館
蔡大鼎の漢詩<うるま・琉球の風景>	紺野達也 訳/解説 うるま市立図書館市史編さん係 編	2015(平成27)年		小白川図書館	